

一般社団法人日本体力医学会評議員申請要項

令和2年度より評議員選考内規が下記のように改定され、選考基準が若干緩和されましたので、お目通しの上評議員の資格を満たすと思われる候補者については奮って推薦・申請いただくようお願い申し上げます。

なお、現学会員数3,633名（男性2,774名、女性859名、男女比＝76.3：23.7）、現評議員数513名（男性445名、女性68名、男女比＝86.7：13.3）につき、とくに女性評議員の比率増加に努めておりますのでご協力の程お願い申し上げます。

I. 申請資格：下記、**評議員選考内規**をご参照下さい。

◎日本体力医学会評議員選考委員会評議員選考内規

昭和62年10月7日改定
平成6年11月18日改定
平成24年7月20日改定
平成28年8月26日改定
令和2年2月21日改定

1. 評議員候補者は、通算7年以上の正会員歴を有していなければならない。
2. 評議員候補者は、7年以上の研究歴を有し、体力医学、運動生理学、スポーツ医学などに関する十分な研究業績の著書、学術論文などの業績発表を有していなければならない。
3. 評議員候補者は、評議員3名の推薦をうけて、入会年月日を明記した履歴書および業績目録を添えて、評議員会開催2カ月前迄に評議員選考委員会に申請しなければならない。
4. 日本体力医学会の学会運営に必要と認められるものは、必ずしも上記条件を満たしていなくとも評議員選考委員会の議を経て、その推薦により評議員候補者となることができる。
5. 評議員選考委員会は、推薦された評議員候補者を審議し、評議員の資格を有すると認められたものを、理事会へ報告し、評議員会に推薦する。

付 則

- 1) 体力医学に関係する領域の学会で評議員を務めるかこの領域で博士の学位を取得しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 2) 日本体力医学会より授与された日本体力医学会健康科学アドバイザーの称号を有しており、内規2を満たす研究歴と研究業績を認め、本学会の正会員歴が4年以上継続している場合には、評議員に推薦することができる。
- 3) 研究業績については、原則として、体力医学に関係する審査を受けた学術論文（原著論文、総説、短報、など）を筆頭著者として3編以上発表していることを基準として、評議員選考委員会で審議する。
- 4) 体力医学に関係する学会の学術大会等で大会長や組織委員会等より指名を受けた指定演題（特別講演、シンポジウム等）の口演発表を行った場合には、付則3)の審査を受けた学術論文の1編と同等の研究業績として評価し、評議員選考委員会で審議する。
- 5) 申請書類の送付先は 一般社団法人 学会支援機構内 日本体力医学会評議員選考委員会とする。

II. 申請手続きについて

下記書類をHPの評議員申請 (<http://www.jspfsm.umin.ne.jp/councilor/index.htm>) からダウンロードの上、ご記入・ご提出下さい。

- 1) 評議員推薦書（評議員3名の署名・捺印が必要です）

- 2) 履歴書
- 3) 研究業績

申請書類の書式に不備があると審査不可として再提出を依頼する事があるので、規定に則て正確に記載して下さい。

Ⅲ. 承認までの流れについて

- ①評議員申請書受付締め切り：2021年6月末日（東京オリンピック・パラリンピック開催予定日程の関係から例年より2週間程早く受付締め切りになるのでご注意ください）
- ②提出期間満了後に評議員選考委員会で確認・選考を行う。
- ③本年9月に開催予定の理事会および評議員会総会において報告・承認を行う。

■申請書提出先

〒112-0012 東京都文京区大塚5-3-13 ユニゾ小石川アーバンビル4階
学会支援機構内
一般社団法人日本体力医学会評議員選考委員会
Tel：03-5981-6015（学会専用） Fax：03-5981-6012（学会支援機構）
E-mail：jspfsm@asas-mail.jp

評議員選考委員会 委員長 大野 誠

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2020年11月）議事録

日 時：2020年11月20日（金）午後5時30分～6時50分

場 所：ZoomによるWeb会議

議 長：鈴木政登理事長

出席者：鈴木政登理事長、

碓井外幸、西平賀昭各副理事長、

武政 徹常務理事、赤間高雄、井福裕俊、

太田 真、栗原 敏、後藤勝正、小山勝弘、

新開省二、須田和裕、竹森 重、田中喜代次、

中里浩一、永富良一、成田和穂、前田清司、

宮内 卓、宮川俊平、和気秀文各理事、

清田 寛、定本朋子各監事、

加藤 公第76回大会長

欠席者：大野 誠、下光輝一、須永美歌子、

浜岡隆文各理事、井上 茂、小林康孝各監事、

徳田修司第75回大会長

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（鈴木理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には、自動的に承認されることにした。

2. シニア会員候補者について（武政総務委員長）

資料に基づき、シニア会員の申請資格対象者が報告され、審議の結果、承認された。昨年同様の通知方法により、事務局から「シニア会員のご案内」を対象者へ個別メールまたは郵送にて連絡を行うこととなった。

3. 第77回日本体力医学会大会大会長候補者について（武政総務委員長）

資料に基づき、獨協医科大学副学長の小橋 元氏が第77回（栃木）大会長に推薦され、審議の結果、承認された。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会（後藤編集委員長）

資料に基づき、「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況が報告された。

1. 「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況 <投稿状況>

（2020年9月1日～2020年10月31日）

「JPFMSM」誌：新規投稿11編（内海外1編）

※前年同期間：新規投稿5編（内海外0編）

10/31現在、審査中13編（2020/6/11～10/31投稿分）

「体力科学」誌：新規投稿9編

※前年同期間：新規投稿5編

10/31現在、審査中9編（2020/6/4～10/31投稿分）

<掲載予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 9, No. 6（2020年11月25日発行）

Proceedings 324編（予稿集掲載分 447編）

2020/12/5（土）、冊子発送完了予定。

○Vol. 10, No. 1（2021年1月25日発行）

Review Article 1編, Regular Article 3編,

Short Communication 2編

2021/1/30（土）、冊子発送完了予定。

「体力科学」誌

○Vol. 69, No. 6（2020年12月1日発行）

特集号 総説4編

2020/12/5（土）、冊子発送完了予定。

○Vol. 70, No. 1（2021年2月1日発行）

大会指定演題、原著4編、資料2編

2021/1/30（土）、冊子発送完了予定。

2. DOAJ（Directory of Open Access Journal）掲載に向けた「JPFMSM」誌の投稿規程を改訂。 （改訂日：2020年10月28日）

「JPFMSM」のホームページ改訂。

6月17日より投稿受付を停止していた「Study Protocol」を「Study Profile」として受付開始。

3. 剽窃チェックソフト「J-STAGE Similarity Check」利用申請「採択」。

2020年10月1日に利用申請書を提出した「J-STAGE Similarity Check」剽窃チェックソフトの利用申請が10月29日に「JPFMSM」「体力科学」両誌が「採択」となった。現在、オンライン投稿審査システム（Editorial Manager）との連携の手続きを進めている。

2) 学術委員会

1. スポーツ医学研修会委員会

（中里スポーツ医学研修会委員長）

来年度実施に向けて準備をする報告がなされた。

2. ガイドライン検討委員会

（宮内ガイドライン検討委員長）

ガイドライン作成として、生活習慣病の予防、熱中症の予防、アンチドーピング等について進めていることが報告された。

3) 渉外委員会（永富渉外委員長）

健康日本21推進全国連絡協議会等、継続の手続きを行っている旨、報告された。

2. 第76回（三重）大会の進捗状況（加藤第76回大会長）

資料に基づき、大会の準備状況と大会概要等が報告された。

会 期：2021年9月17日（金）～19日（日）

会 場：三重県総合文化センター

テーマ：「知の継承と共有」

大塚スポーツ医科学賞の開催及び運営については、会議のなかで多くの意見がなされた。その結果、鈴木理事長により、今後の理事会の審議事項とすることが提案された。

3. 第77回（栃木）大会の進捗状況

審議事項で承認された、第77回（栃木）大会長の小橋 元氏へ次回からの理事会に出席していただく旨、連絡することが報告された。

4. その他

倫理委員会報告事項（成田倫理委員長）

演題応募における倫理的手続きについて、具体案を作成中であることが報告された。

2021年度スポーツ医学研修会の中止について

拝啓 時下益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、標記の件につきまして、学術委員会・スポーツ医学研修会委員会および理事会における審議結果に基づき、「本研修会中止」が決定されましたので、お伝えいたします。

いまだに新型コロナウイルス感染者が増加しており、ワクチンの到来が待たれるもののいまだ終息の見通しが立っていません。今年度もこれまでに引き続きスポーツ医学研修会会場として日本体育大学の施設をお借りする予定でしたが、日体大では外部団体からの施設利用申し込みは現在受け付けておらず、何時から受けつけるかの見通しも立っておりません。このような状況下では参加者募集および研修会開催は不可能と判断されました。

上記のような状況を鑑み、2021年度のスポーツ医学研修会の開催は中止とさせていただきます。

スポーツ医学研修会委員会 委員長 中里 浩一

第23回日本体力医学会北海道地方会大会のご案内

日 時：令和3年4月17日(土)

開催方法：ハイブリッド形式（対面とオンライン）

* 発表者のみ対面での参加を可能とします
（オンライン参加も選択可能です）

会 場：

北海道大学 大学院保健科学研究所E106多目的室
〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目

プログラム（予定）

13：30～ 受付
14：00 開会
14：05～15：05 特別講演
女性アスリートのコンディショニング科学(仮題)
演者：須永美歌子先生
(日本体育大学児童スポーツ教育学部)

15：15～16：15 一般演題発表

16：20～16：40 総会

16：40 閉会

参加申込

事前申込制といたします。(締め切り4月11日(日))

下記サイトまたは右のQRコードより

申し込みをお願いいたします。

<https://forms.gle/8Gstpz73aAnXBr2w5>

今年度の参加費は無料です。

一般演題の発表について

対面もしくはオンライン（オンデマンド）での口頭発表のみです。発表時間は8分（発表6分、質疑応答2分）を予定しておりますが、演題数によって時間を多少変更させていただく可能性があります。発表者には、演題数が確定次第、発表時間について連絡を差し上げます。

【対面での発表】

・Microsoft Power Pointで作成した発表ファイルをUSBメモリに保存してご用意ください（必ず事前にUSBのウイルスチェックを済ませてください）。当日は事務局PC（Windows, Power Point 2016を予定）を使用して発表していただきます。

【オンライン（オンデマンド）での発表】

・Power Pointなどで作成したスライドショーに音声を追加したビデオ資料を作成し、4月4日(日)までに事務局宛てにお送りください。ファイルサイズが大きい場合は、ファイル転送サービスなどをご利用ください。
・ビデオ資料はmp4形式で作成してください。Power Pointや、web会議システム（ZoomやWebexなど）の録画機能を用いて作成することができます。
・当日は、Web会議システムを使用して、事務局PCからビデオ配信させていただきます。その後、質疑応答の時間を設けますので、発表時間にはweb会議システムでのオンライン参加をお願いします（大会当日の発表時間のみの配信で、大会前後の配信期間は設けません）。

懇親会のご案内

今年度は開催いたしません。ご了承ください。

大会事務局

〒060-0812 札幌市北区北12条西5丁目

北海道大学保健科学研究所リハビリテーション科学分野
会 長 遠山晴一

事務局 寒川美奈 石田知也

E-mail：jspfsm-hokkaido@hs.hokudai.ac.jp



第33回日本体力医学会北陸地方会のご案内

日 時：令和3年（2021年）6月6日（日）
 大会長（当番幹事）：平井一芳（福井県立大学）
 会 場：アオッサ（AOSSA）
 福井市手寄1丁目4番1号（JR福井駅前）
 プログラム：
 10：00～11：00 理事会
 11：20～12：00 総 会
 12：00～13：00 昼 食
 13：10～14：10 特別公演
 14：20～16：20 研究発表

一般演題募集：
 令和3年3月15日（月）～令和3年4月23日（金）

送り先及び問い合わせ先：
 福井県立大学看護福祉学部看護福祉学科
 平井一芳
 E-mail: thirai@fpu.ac.jp
 Tel: 0776-61-6000 FAX: 0776-61-6016

第42回バイオメカニズム学術講演会（SOBIM2021 in 香川） ～ Society 5.0に向けたバイオメカニズム（仮）～ — 開催案内 —

主 催：バイオメカニズム学会
 会 期：2021年11月27日（土）～11月28日（日）
 会 場：サンポートホール高松
 （〒760-0019 香川県高松市サンポート2-1）

●講演会内容（予定）

- ・基調講演
- ・シンポジウム
- ・オーガナイズドセッション
- ・ランチョンセミナー
- ・一般講演
- ・機器展示

準備中

●一般演題発表募集（予定）

講演申込締切 2021年7月5日（月）
 採否連絡 2021年8月9日（月）
 原稿投稿締切 2021年10月4日（月）

●企業展示・広告募集締切（予定）2021年10月4日（月）

●事前参加登録締切（予定）2021年10月4日（月）

●会場までの交通機関

JR高松駅より徒歩3分、高松空港からリムジンバス
 でJR高松行き約45分

●第42回バイオメカニズム学術講演会運営事務局

〒760-0396 香川県高松市林町2217-20
 香川大学創造工学部 機械システム工学領域 井上恒
 E-mail: sobim2021@gmail.com
 学術講演会WEB：4月上旬公開予定

●協賛団体（予定）

計測自動制御学会、システム制御情報学会、情報処理
 学会、人工知能学会、人体科学会、精密工学会、電気
 学会、電子情報通信学会、日本運動生理学会、日本看
 護科学学会、日本看護技術学会、日本看護研究学会、
 日本機械学会、日本義肢装具学会、日本義肢装具士協
 会、日本建築学会、日本作業療法士協会、日本シミュ
 レーション学会、日本写真測量学会、日本人工臓器学

会、日本人類学会、日本生活支援工学会、日本整形外
 科学会、日本生体医工学会、日本生理学会、日本体育
 学会、日本体力医学会、日本人間工学会、日本バイオ
 マテリアル学会、日本バイオメカニクス学会、日本福
 祉のまちづくり学会、日本補綴歯科学会、日本理学療
 法士協会、日本リハビリテーション医学会、日本リハ
 ビリテーション看護学会、日本リハビリテーション工
 学協会、日本臨床スポーツ医学会、日本臨床神経生理
 学会、日本臨床バイオメカニクス学会、日本ロボット
 学会、日本ロボット工業会、ヒューマンインタフェー
 ス学会、ライフサポート学会、臨床歩行分析研究会、
 IEEE EMBS Japan Chapter, IEEE EMBS West Ja-
 pan Chapter

●実行委員会（予定）

実行委員長：山 神 真 一（香川大学教育学部）
 事務局 長：井 上 恒（香川大学創造工学部）
 プログラム委員長：

小 林 吉 之（産業技術総合研究所）

実行委員：

佐々木大輔（香川大学創造工学部）
 佐藤敬子（香川大学創造工学部）
 北御門雄大（香川大学創造工学部）
 宮本賢作（香川大学教育学部）
 大家利彦（産業技術総合研究所）
 菅原雄介（東京工業大学工学院）
 門田 宏（高知工科大学情報学群）
 中島康貴（九州大学工学研究院）
 高橋 真（広島大学大学院医系科学研究科）
 植松 梓（獨協医科大学医学部）
 土田和可子（産業技術総合研究所）

Web担当：長濱峻介（早稲田大学創造理工学部）

2022年度学術講演会委員：（第43回学術講演会担当）

常任理事・事業担当：木塚朝博（筑波大学体育系）

編 集 後 記

私に関係した原著論文が初めて体力科学に掲載されたのは2000年であり、それ以来本誌およびその関係者の皆様には大変お世話になっております。あの当時はよもや私が体力科学の編集委員になり、ましてや編集後記を書く機会をいただくとはゆめゆめ思っておりませんでした。長年お世話になった本誌への御恩返しのため、編集後記を含めた体力科学の編集を非力ながら精いっぱい勤めさせていただいております。

本巻（2021年、第70巻2号）には3編の原著と3編の資料が掲載されています。運動への栄養介入研究、地域高齢者、スポーツ損傷、小学生の体力などに関連した疫学研究が主だった内容になります。執筆者および査読者の先生方に厚く御礼申し上げます。特に浦辺先生らによるCOVID19パンデミックにおけるウェアラブルデバイスを用いた身体活動量調査研究はまさに今日のかつ社会に向けても重要なトピックです。新型コロナウイルスに関する研究は将来的に本学会のみならず社会的にも貴重な資料になると思われます。

本学会に所属される先生方にはその研究成果を英語の国際専門誌に発表される方も多く、日本体力医学会は世界と伍するレベルにあると思います。本学会会員の先生やその大学院生らが大挙して国際学会に参加する風景もはや日常的です。日本体力医学会自身も英文専門誌（Journal of Physical Fitness and Sports Medicine, JPFMSM）を発刊しており、私自身発刊号よりJPFMSMに

もお世話になっております。JPFMSMは日本体力医学会が世界に向けた情報発信になろうかと思われまます。一方、本体力科学誌は国際英文誌にも論文を掲載される先生方が日本語で質の高い科学情報を提供しており、日本語を用いているがゆえに学会員をはじめとした研究者のみならず本邦他分野の研究者あるいは一般に対する体力科学研究情報のタイムリーな提供、科学的知識の底上げに寄与しうるものです。

インパクトファクター至上主義は長年議論の俎上にあります。中国は科学技術分野での成長も著しくもはや日本どころか米国をも追い越す勢いがあります。その中国では国内学術誌の地位向上を目指すことで国内の研究全体の底上げに成功していると伺っています。学術誌のオープンアクセス化による論文出版料の高騰が世界的な問題になっている中で、体力科学、JPFMSMがプラットフォームとするJ-STAGEは日本発の科学技術情報の低コストオープンアクセス推進を目指しており、商業出版社によらない世界的にもユニークな仕組みです。体力科学およびJPFMSMはその役割をうまく分担しながら日本発信の独自性の高いレベルの研究の創成および日本全体の体力科学分野の科学的知識の底上げに寄与することが期待されていると思います。

中里 浩一

The Japanese Journal of Physical Fitness and Sports Medicine Vol.70, No.2

体 力 科 学 第 70 巻 第 2 号

令和 3 年 3 月 25 日 印 刷
令和 3 年 4 月 1 日 発 行

編集兼発行者
発 行 所

後 藤 勝 正
一般社団法人日本体力医学会
〒112-0012 東京都文京区大塚 5-3-13
ユニゾ小石川アーバンビル4階 学会支援機構内
TEL: 03-5981-6015 FAX: 03-5981-6012
E-mail: jspfsm@asas-mail.jp

編集事務局

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社内
TEL: 0235-22-3120 FAX: 0235-22-3120
E-mail: hj-tairyoku@turuin.co.jp

印 刷 所

〒997-0854 山形県鶴岡市大淀川字洞合 1-1
鶴岡印刷株式会社